



かぶっとこ通信

8月4日に開催された「高知県高校生ヘルメット着用推進シンポジウム」では、8校の高校生が、自転車のヘルメット着用率を向上させるための方法について意見を交わしました。そこで、須崎総合高校から提案された啓発活動が、5校の連携で実現しました。



県内では毎年、登下校中の高校生による自転車交通事故が発生しており、中には頭部打撲等の重篤な状況につながりかねない事案も見られます。しかし、県内では高校生のヘルメット着用率が思うように上がりません。そこで、高知県内の5校（須崎総合高校・高知工業高校・高岡高校・高知海洋高校・中村高校）の生徒達がはりまや橋付近に集結し、自転車のヘルメットを自ら被り、下記の啓発グッズを自転車通学の生徒へ手渡し、着用を呼びかける活動を行いました。

また、高知警察署や高知県高等学校PTA連合会、ヘルメット姿の「しんじょう君」にも協力してもらい、ヘルメット着用について複数の関係機関が連携した啓発活動となりました。

しんじょう君ヘルメットを被る！
(ヘルメットは須崎総合高校作製)



配布啓発グッズ



ヘルメット姿のしんじょう君のイラストが描かれたコースター（須崎総合高校作製）



これからも呼びかけを続けていって、ヘルメットをつける人を増やしていきたいです。